

大学番号：私200

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

大阪経済法科大学 国際学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪経済法律学園

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 庶務課長

職名・氏名 ハルヤマ カツヤ
春山 勝哉

電話番号 072-941-8211

（夜間） 072-941-1503

F A X 072-941-4426

e-mail syomu@keiho-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際学部

＜国際学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人大阪経済法律学園

(2) 大 学 名

大阪経済法科大学

(3) 大学の位置

花岡キャンパス

〒581-8511

大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地

八尾駅前キャンパス

〒581-8522

大阪府八尾市北本町2丁目10番45号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カナザワ シュンコウ) 金澤 俊孝 (平成7年3月25日)		
学 長	(フジモト ワキオ) 藤本 和貴夫 (平成17年4月1日)	(タバタ リイチ) 田畑 理一 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う新学長選任(29)
学 部 長	(タバタ リイチ) 田畑 理一 (平成28年4月1日)	(ナカイ ヒデオ) 中井 英雄 (平成29年4月1日)	学長就任に伴う新学部長選任(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際学部 国際学科 学士(国際学)	文学関係 経済学関係	4 年	140 人	年次 -人	560 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を() 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 140 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 140 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 () () []	人 () () []	人 () () []	人 () () []	1.09倍	
志願者数	1,440 (-) [68]	- (-) [-]	1,665 (-) [99]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	1,032 (-) [70]	- (-) [-]	1,412 (-) [99]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	635 (-) [70]	- (-) [-]	631 (-) [69]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	146 (-) [62]	- (-) [-]	162 (-) [61]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.15							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	146 [62] (-)	— [-] (-)	162 [61] (-)	— [-] (-)					
2 年次			141 [58] (-)	— [-] (-)					
3 年次									
4 年次									
計					146 [62] (-)	303 [119] (-)			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	146 人	5 人	平成28年度	5 人	4 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職 (1人)、除籍(3人)	3.42 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	— 人	— 人		
			平成31年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	162 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	— 人	— 人		
			平成31年度	— 人	— 人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	— 人	— 人		— %
			平成31年度	— 人	— 人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	— 人	— 人		— %
合 計	308 人	5 人					1.62 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要
 <国際学部 国際学科>
 (1)授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共 通 教 育 科 目	文章表現入門	1前		2							兼8 兼9 兼7	兼任教員の退職及び時間割編成上の理由により、科目担当を変更(29) 兼任教員の新規採用により、担当者を追加(28)
	基礎体育A	1前		1							兼2 兼4 兼3	兼任教員の退職により、科目担当を変更(29) 兼任教員の新規採用により、担当者を変更・追加(28)
	基礎体育B	1後		1							兼2 兼4 兼3	兼任教員の退職により、科目担当を変更(29) 兼任教員の新規採用により、担当者を変更・追加(28)
	哲学	1・2・3・4後		2							兼1	時間割編成上の理由により、科目担当を変更(28)
	日本史	1・2・3・4後		2							兼2 兼1	履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
	日本近現代史	1・2・3・4後		2							兼1	
	西洋史	1・2・3・4後		2							兼1	
	考古学	1・2・3・4前		2							兼1	
	文化人類学	1・2・3・4後		2							兼1	
	文学	1・2・3・4前		2							兼2	
	言語学	1・2・3・4前		2							兼1	
	教育学	1・2・3・4後		2							兼1	
	心理学	1・2・3・4後		2							兼2	
	日本国憲法	1・2・3・4前		2							兼1	
	法学	1・2・3・4後		2							兼1	
	政治学	1・2・3・4後		2							兼1	
	経済学	1・2・3・4後		2							兼1	時間割編成上の理由により、科目担当を変更(28)
	地理学	1・2・3・4後		2							兼1	兼任教員の委嘱辞退により、科目担当を変更(28)
	社会学	1・2・3・4後		2							兼1	
	日本事情入門	1・2・3・4前		2							兼2 兼1	教育の充実を図るために、科目担当者を追加(29)
	現代日本事情	1・2・3・4後		2							兼2 兼1	履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
	科学技術史	1・2・3・4後		2							兼1	教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)
	化学と生活	1・2・3・4後		2							兼1	
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼1	
	情報システム論	1・2・3・4前		2							兼1	兼任教員の新規採用により、科目担当を変更(28)
	ソフトウェア論	1・2・3・4後		2							兼1	
	ネットワーク論	1・2・3・4後		2			±				兼1	時間割編成上の理由により、科目担当を変更(29)
	ワープロ実践	1・2・3・4前		2							兼2 兼1	兼任教員の病気休職により、科目担当を変更(29)
	表計算実践	1・2・3・4後		2			1					
	データベース実践	1・2・3・4後		2							兼2 兼1	兼任教員の病気休職により、科目担当を変更(29)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 育 科 目	デジタルプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼2 兼1 兼担教員の病気休職により、科目担当者を 変更(29)
	ワープロ応用	2・3・4前		2							兼1 教育の充実を図るために、科目を新規開 設(29)
	表計算応用	2・3・4後		2		1					
	プログラミング実践	2・3・4前		2		1					
	情報科学演習	2・3・4前		2							兼1
	環境論	1・2・3・4前		2							兼2 オムニバス
	環境フィールドスタディⅠ	1・2・3・4前		2							兼2 兼担教員の新規採用により、科目担当者を 兼1 追加(29)
	環境フィールドスタディⅡ	1・2・3・4後		2							兼2 兼担教員の新規採用により、科目担当者を 兼1 追加(29)
	平和学	1・2・3・4前		2							兼3 オムニバス
	マスコミ論	1・2・3・4後		2							兼2 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目 兼1 担当者を追加(28)
	地域文化論	1・2・3・4前		2							兼2 履修者数に応じてクラス数を増加(28) 兼1
	芸術学	1・2・3・4後		2							兼1
	河内学	1・2・3・4前		2							兼6 オムニバス
	現代社会学	1・2・3・4前		2							兼1
	現代社会と人権	1・2・3・4後		2							兼1
	現代社会と教育	1・2・3・4前		2							兼1
	現代社会と健康	1・2・3・4休		2							兼1 集中
	現代社会と日本語	1・2・3・4後		2							兼1
	現代社会と科学	1・2・3・4後		2							兼1 教育の充実を図るために、科目を新規開 設(29)
	現代社会とビジネス	1・2・3・4前		2							兼2 オムニバス
	現代社会と観光	1・2・3・4前		2							兼3 オムニバス 兼4 時間割編成の理由により、科目担当者を 変更(28)
	現代社会とメディア	1・2・3・4後		2							兼1
	人権の諸問題	2・3・4前		2							兼1 隔年開講
	海運と港湾	2・3・4後		2							兼1
	日本の水産業と世界の水産業	2・3・4前		2							兼1
	地球と環境	2・3・4後 前		2							兼1 兼担教員の新規採用により、科目担当者を 及び開講時期を変更(29)
	環境と経営	2・3・4前		2							兼1
	環境と社会	2・3・4前		2							兼1
	環境と海洋	2・3・4後		2							兼1
	環境と生態	2・3・4後		2							兼1
	環境保全論	2・3・4休		2							兼3 集中、オムニバス 兼2 兼担教員の新規採用により、科目担当者を 追加(29)
	環境演習A	2・3・4前		2							兼1
	環境演習B	2・3・4後		2							兼1
	ビジネスリテラシー	2・3・4後		2							兼1
	総合演習a	2・3・4前		2							兼5 教育の充実を図るために、科目担当者を 兼4 追加(29) 兼3 兼担教員新規採用により、科目担当者を 追加(28)
	総合演習b	2・3・4後		2							兼5 教育の充実を図るために、科目担当者を 兼4 追加(29) 兼3 兼担教員新規採用により、科目担当者を 追加(28)
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教育 科目	フランス語Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼1	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼1	
	韓国語Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼2	
	韓国語Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼2 兼4	時間割編成上の理由により、科目担当者 を変更(29)
	ロシア語Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	
	ロシア語Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼1	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼5 兼3	履修者数に応じてクラス数を追加し、担当 者を追加(28)
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前 後		2							兼5 兼9 兼4	教育の充実を図るために、科目担当者 を変更(29) 教育の充実を図るために、開講時期の変 更(29) 履修者数に応じてクラス数を追加し、担当 者を変更・追加(28)
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前後		2							兼9	教育の充実を図るために、科目を新規開 設(29)
	日本語Ⅳ	1・2・3・4前後		2							兼6	教育の充実を図るために、科目を新規開 設(29)
	日本語Ⅴ	1・2・3・4後		2							兼7	教育の充実を図るために、科目を新規開 設(29)
	日本語Ⅵ	1・2・3・4後		2							兼7	教育の充実を図るために、科目を新規開 設(29)
	中国語総合演習A	1・2・3・4前		2							兼1	
	中国語総合演習B	1・2・3・4後		2							兼1	
	ロシア語総合演習A	1・2・3・4前		2							兼1	
	ロシア語総合演習B	1・2・3・4後		2							兼1	
	日本語総合演習A	1・2・3・4前		2				1			兼4 兼2	教育の充実を図るために、科目担当者を 追加・変更(29) 時間割編成の理由により、担当者を変更 (28)
	日本語総合演習B	1・2・3・4後		2				1			兼4 兼3	教育の充実を図るために、科目担当者を 追加・変更(29) 時間割編成の理由により、担当者を変更 (28)
	中国語会話	1・2・3・4前		1							兼1	
	韓国語会話	1・2・3・4後		1							兼1	
	日本語読解	1・2・3・4前		1							兼1	教育の充実を図るために、科目を新規開 設(29)
	日本語会話	1・2・3・4前 一後		1				+			兼1 兼5 兼2	教育の充実を図るために、科目担当者を 変更(29) 教育の充実を図るために、開講時期の変 更(29) 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目 担当者を追加(28)
	日本語表現	1・2・3・4後		1							兼1 兼6 兼2	教育の充実を図るために、科目担当者を 変更(29) 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目 担当者を変更・追加(28)
	中国語コミュニケーション演習	2・3・4前		4							兼1	
	韓国語コミュニケーション演習	2・3・4前		4							兼1	
	健康科学論	1・2・3・4後		2							兼1	
	心とからだの病理学	1・2・3・4後		2							兼1	
	身体運動科学	1・2・3・4後		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通 教育 科目	スポーツ論	1・2・3・4前		2							兼1	兼担教員の退職により、科目担当者を変更(29) 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)	
	生涯スポーツA	1・2・3・4前		1							兼4 兼6 兼6		
	生涯スポーツB	1・2・3・4後		1							兼4 兼6 兼6		
	フィットネス実習A	1・2・3・4前		1							兼2		
	フィットネス実習B	1・2・3・4後		1							兼2		
	トレーニング演習A	1・2・3・4前		2							兼2		
	トレーニング演習B	1・2・3・4後		2							兼2		
	身体管理論	2・3・4後		2							兼1 兼2 兼1		
	スポーツ指導論	2・3・4前		2							兼1 兼2 兼1		
スポーツ管理論	2・3・4前		2							兼1 兼2 兼1			
小計(107科目)		-	0	207	0	1	1				兼67 兼59 兼64		
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	異文化理解	1前		2		1			1		兼1	オムニバス 専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29) 履修者数に応じてクラス数を増加(28)
		日本史概論Ⅰ	1前		2							兼1	オムニバス オムニバス
		日本史概論Ⅱ	1後		2							兼1	
		世界史概論Ⅰ	1前		2		1					兼1	
		世界史概論Ⅱ	1後		2		1					兼1	
		国際社会と法	1前後		2				1				時間割編成上の理由により、開講時期を変更(29)
		市民社会と法	1前		2							兼1	教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29)
		日本と国際法	1後		2								
		Intensive English W/RⅠ	1前		2			1				兼9 兼4 兼3	
		Intensive English W/RⅡ	1後		2			1				兼9 兼4 兼3	
		Intensive English L/SⅠ	1前		2				1		1	兼4 兼3	時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29) 教育充実のため、クラス数を増加(28)
		Intensive English L/SⅡ	1後		2				1		1	兼4 兼3	時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29) 教育充実のため、クラス数を増加(28)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門 教育科目	専門 基礎科目	Exam Prep. I	1前		2			1				兼1	教育充実のため、クラス数を増加し、科目 担当者を追加(28)
		Exam Prep. II	1後		2			1				兼1	教育充実のため、クラス数を増加し、科目 担当者を追加(28)
		情報リテラシー I	1前		2		2					兼1	
		情報リテラシー II	1後		2		2					兼1	
		メディアリテラシー	1後		2			1				兼1	専任教員の退職により、担当者を変更 (29)
		コミュニケーション論	1後		2		1						
		ミクロ経済学 I	1前		2		1						
		マクロ経済学 I	1後		2		1						
		経営学概論	1前		2							兼1	
		国際ビジネス概論	1後		2		1	1					高砂謙二教授、昇格による職位変更(29)
	小計(22 科目)	-	8	36	0	7 6	3 4	0	1	0	兼21 兼16 兼12		
	専門 発展科目	国際 理解 科目 群	日本文化論	2前		2							兼1
比較文化論			2後		2		1			1		兼1	オムニバス
多文化共生社会論			3・4前		2			2 1		1		兼1 兼2	オムニバス 専任教員の新規採用により、科目担当者 を変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28)
Japanese Culture			2後		2					1			
Japanese History			2休		2							兼1	集中
Japanese Society			2前		2							兼1	
Japanese Geography			2後		2							兼1	
Japanese Law and Society			3・4前		2		1	1					グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授、 昇格による職位変更(28)
Comparative Culture			3・4前		2							兼1	
Comparative Legal System			3・4後		2		1	1					グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授、 昇格による職位変更(28)
ジェンダー論			2前		2							兼1	
宗教学			2後		2							兼1	
社会思想史			2前		2							兼1	
アジア史			2前		2		1						
アメリカ史			2後		2							兼1	
ヨーロッパ史			2後		2							兼1	
現代中国事情			3・4前		2							兼1	
現代東南アジア事情			3・4前		2			1		1			梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28)
現代オセアニア事情			3・4前		2							兼1	
現代アメリカ事情			3・4後		2							兼1	
現代ヨーロッパ事情			3・4後		2							兼1	
現代中東事情			3・4後		2							兼1	
Regional Studies (Asia)			3・4休		2							兼1	集中
Regional Studies (Oceania)			3・4前		2							兼1	
Regional Studies (America)			3・4休		2							兼1	集中
Regional Studies (Europe)			3・4後		2							兼1	
国際関係論			2前		2							兼1	
安全保障と国際法			2前		2						1		教育の充実を図るために、専任教員を新 規採用し、科目を新規開設(29)
国際紛争の平和的解決と国際法			2後		2						1		教育の充実を図るために、専任教員を新 規採用し、科目を新規開設(29)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手	
専門 教育科目	国際 理解 科目 群	International Relations and Law (Introduction to International Law)	2後	2					1		教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29)	
		国際協力法	3・4前	2			1					
		国際人権法	3・4後	2			1					
		国際社会と人の移動	2後	2			1		1		梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28)	
		International Migration	2前	2			1				教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29)	
		Multiculturalism in Modern Society	2後	2			1				教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29)	
		異文化適応論	2後	2			1				教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29)	
		政治地理学	3・4後	2							兼1	
		NPO・NGO論	2前	2							兼1	
		地方自治と国際協力	2前	2							兼1	
		国際機構論	3・4後	2			1					
		比較税制論	3・4前	2		1						
		社会保障の国際比較	3・4前	2							兼1	
		都市計画の国際比較	3・4前	2							兼1	
	資源・エネルギー論	2後	2							兼1		
	小計(44科目)	-	0	88	0	3 2	3 2	0	2 1 2	0	兼22 兼30	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目 群	Advanced English W/R I	2前	2			1				兼7 兼3	時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29)
		Advanced English W/R II	2後	2			1				兼6 兼3	時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29)
		Advanced English L/S I	2前	2				1		1	兼5 兼3	時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29)
		Advanced English L/S II	2後	2				1		1	兼4 兼3	時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29)
Academic Writing I		3・4前	2						1			
Academic Writing II		3・4後	2						1			
Business Communication I		3・4前	2							兼1		
Business Communication II		3・4後	2							兼1		
Exam Prep. III		2前	2							兼2 兼4	教育の充実を図るために、科目担当者を追加(29)	
Exam Prep. IV		2後	2						1	兼1	教育の充実を図るために、科目担当者を追加(29)	
Comprehensive English I		3・4前	2			1	1				グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授、昇格による職位変更(28)	
Comprehensive English II		3・4後	2			1	1				グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授、昇格による職位変更(28)	
Current Affairs		3・4前	2			1	1				グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授、昇格による職位変更(28)	
Readings for Global Issues I		2前	2				1				教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29)	
Readings for Global Issues II		2後	2				1				教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29)	
翻訳実践		3・4前	2								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	専門発展科目 コミュニケーション科目群	観光英語	3・4前	2								兼1	専任教員の退職により、担当者を変更(29)
		貿易英語	3・4後	2								兼1	
		日本語文章表現Ⅰ	2前	2			1					兼1	
		日本語文章表現Ⅱ	2後	2			1					兼1	
		日本語コミュニケーション技法Ⅰ	2前	2			1						
		日本語コミュニケーション技法Ⅱ	2後	2			1						
		アカデミックライティング	3・4前	2			1						
		テクニカルライティング	3・4後	2			1						
		情報セキュリティ論	2前	2		1							
		ビジネスアプリケーション	2後	2		1							
		クラウド活用実践	3・4後	2		1							
		データマイニング	3・4前	2		1							
		Webデザイン実践	3・4後	2		1							
		メディア論	2前	2			±					兼1	
		グローバル化とメディア	2後	2								兼1	
		ソーシャルメディア論	3・4前	2		1							
		メディアと広告	3・4前	2								兼1	
		ジャーナリズム論	3・4後	2								兼1	
		ことばと文化	2前	2		1							
		社会心理学	2前	2								兼1	
	異文化コミュニケーション	2後	2								兼1		
	プレゼンテーション実践	3・4前	2								兼1		
	ディベート実践	3・4後	2								兼1		
	ビジネス交渉	3・4後	2								兼1		
	小計(40科目)	-	8	72	0	5 4	3 4	0	1	0	兼23 兼15		
	国際ビジネス関連科目群	経済系科目	ミクロ経済学Ⅱ	2前	2		1						高砂謙二教授、昇格による職位変更(29)
			マクロ経済学Ⅱ	2前	2		1						
			経済政策概論	2後	2		1						
			国際経済学概論	2後	2		1						
			国際金融概論	2後	2		1	±					
			比較経済論	2前	2		1						
			Japanese Economy	3・4前	2							兼1	
			中国経済論	3・4前	2							兼1	
			東南アジア経済論	3・4後	2							兼1	
			アメリカ経済論	3・4後	2							兼1	
		経営系科目	ヨーロッパ経済論	3・4後	2		1						兼担教員の退職により、科目担当者を変更(29) 科目担当者が退職。未開講の科目であるため、開講年度までに科目担当者を決定する(28)
			ロシア経済論	3・4後	2		1						
			航空経済論	3・4前	2							兼1	
			Contemporary Economic Issues	3・4後	2							兼1	
			経営管理概論	2前	2							兼1	
経営戦略論			2後	2							兼1 兼1		
Business Management			3・4後	2							兼1		
会計学概論			2前	2							兼1		
税法			3・4前	2							兼1		
国際会計論			3・4後	2							兼1		
経営情報概論	3・4後	2		1									
マーケティング論	2前	2							兼1				
流通システム論	2後	2							兼1				

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目 専門発展科目	国際ビジネス 関連科目 国際ビジネス関連科目群	ビジネス統計	2後	2							兼1	高砂謙二教授、昇格による職位変更(29)	
		国際経営論	2後	2		1	1						
		外国為替論	3・4前	2		1	1						高砂謙二教授、昇格による職位変更(29)
		貿易商務論	3・4前	2							兼1		
		貿易金融論	3・4前	2		1	1				高砂謙二教授、昇格による職位変更(29)		
		国際取引と法(契約と決済)	3・4前	2							兼1	高砂謙二教授、昇格による職位変更(29)	
		国際取引と法(紛争処理)	3・4後	2							兼1		
		国際ビジネスと知的財産	3・4後	2							兼1		
		観光概論	2前	2							兼1		
		観光資源論	2後	2							兼1		
		国際観光論	3・4前	2							兼1		
		航空実務	3・4後	2							兼1		
	クルーズ・ビジネス論	3・4前	2							兼1			
	ホスピタリティ論	3・4前	2							兼1			
	Tourism and World Heritages	3・4後	2							兼1			
	医療ビジネス論	3・4前	2							兼1			
	小計(39科目)	-	0	78	0	4 3	0 1	0	0	0	兼19 兼21		
	演習科目	基礎演習A	1前	2			3 2	5 6 5		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更(29) 新任専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28)	
		基礎演習B	1後	2			3 2	5 6 5		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更(29) 新任専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28)	
		専門演習ⅠA	2前	2			3 2	4 6 5		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更(29) 新任専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28)	
		専門演習ⅠB	2後	2			3 2	4 6 5		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更(29) 新任専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28)	
		専門演習ⅡA	3前	2			5 4	2 4 3		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更(29) 新任専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28)	
		専門演習ⅡB	3後	2			5 4	2 4 3		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更(29) 新任専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門教育科目	専門演習ⅢA	4前		2		5 4	2 4 3		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更 (29) 新任専任教員の新規採用により、科目担 当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28)
	専門演習ⅢB	4後		2		5 4	2 4 3		1 1		専任教員の退職により、担当者を変更 (29) 新任専任教員の新規採用により、科目担 当者を変更(29) 高砂謙二教授、昇格による職位変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28)
	小計(8科目)	-	4	12	0	6 5	5 6 5		1 1 0		
	留学・体験科目										
	海外語学研修	1休		2		1 2 1			1		新任専任教員の新規採用により、科目担 当者を変更(29)
	フィールド・プロジェクトⅠ	1休		2		1 4 3 2			1 1		新任専任教員の新規採用により、科目担 当者を変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28)
	フィールド・プロジェクトⅡ	2・3休		2		1 4 3 2			1 1		新任専任教員の新規採用により、科目担 当者を変更(29) 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28)
	小計(3科目)	-	0	6	0	2 5 4 3			2 1 2		
	キャリア形成科目										
	国際キャリア開発A	1前		2							兼1
	国際キャリア開発B	1後		2							兼1
	国際キャリアデザイン演習A	2前		2							兼3
	国際キャリアデザイン演習B	2後		2							兼3
	国際キャリア演習A	3前		2							兼3
	国際キャリア演習B	3後		2							兼3
	インターンシップ	2・3休		2							兼1
	海外インターンシップ	2・3休		2							兼1
	小計(8科目)	-	0	16	0						兼7 兼6
合計(271科目)		-	20	515	0	10 9 8	5 6 5	0	2 1 2	0	兼128 兼104 兼96

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	244	0	254	10	261 244	0	271 254	教育課程の充実のため、授業科目を新規開設 (29)
				[0]	[17]	[0]	[17]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入して下さい。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{254} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	64,582.3㎡	㎡	㎡	64,582.3㎡				
	運動場用地	19,956.5㎡	㎡	㎡	19,956.5㎡				
	小 計	84,538.8㎡	㎡	㎡	84,538.8㎡				
	そ の 他	301,888.8㎡	㎡	㎡	301,888.8㎡				
	合 計	386,427.6㎡	㎡	㎡	386,427.6㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		34,765.7㎡ (34,765.7㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	34,765.7㎡ (34,765.7㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		27 28 29室	41 34 35室	3室	4室 (補助職員 人)	20室 (補助職員 人)	国際学部で使用する教室数を記載 (28) 教室の仕壊変更等により増減 (29)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		国際学部所属専任教員数 の増加 (29)		
		国際学部国際学科			17 16 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	国際学部国際学科	345,366 [75,204] (339,474 [75,112]) (339,421 [74,835]) (335,686 [74,644])	119 [5] (124 [8]) (119 [5])	2,236 [2,236] (2,236 [2,236])	542 (542)	8,038 7,680 (8,526) (7,680) (7,680)	()	大学全体での共用分 (完成年度) 図書345,366冊 [75,204冊] 学術雑誌2,355種 視聴覚資料542点 申請後の図書受入による 増冊 (28) 機械・器具の購入による 増加 (28)	
	計	345,366 [75,204] (339,474 [75,112]) (339,421 [74,835]) (335,686 [74,644])	119 [5] (124 [8]) (119 [5])	2,236 [2,236] (2,236 [2,236])	542 (542)	8,038 7,680 (8,526) (7,680) (7,680)	()	図書受入による増冊 (29) 機械・器具の購入による 増加 (29)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		レイアウト変更による 閲覧座席数減 (28)		
		4,410.0㎡	469 473		428,000冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		8,048.7㎡	テ ニ ス コ ー ト 2 面 弓道場1面、アーチェリー場1面						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	経費見積時の繰上計算と 実際の支払額との差異 (28)
		教員1人当り研究費等	508千円	508千円	図書購入費	2,017千円 2,153千円	14,909千円 1,000千円	1,000千円	
		共同研究費等	541千円	1,672千円 541千円	設備購入費	18,556千円 18,569千円	44,320千円 1,000千円	1,000千円	図書購入費、設備購入費 は国際学部単位での特定 不能なため、大学全体の 金額 (29)
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,196千円	1,016千円	1,036千円	1,056千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪経済法科大学大学院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均定員 超過率	開 年 度	設 度	所 在 地	AC対象は、大学院 経済学研究科経済 学専攻（修士課 程）、大学院経済 学研究科経営学専 攻（修士課程）
《AC対象学部等》	年	人	年次 人	人		倍				
経済学研究科 経済学専攻（修士課程）	2	10	-	30	修士 （経済 学）	1.02 1.00	平成27年度		大阪府八尾市楽音寺 6丁目10番地	
経営学専攻（修士課程）	2	10	-	10	修士 （経営 学）	1.10	平成29年度		同上	
大 学 の 名 称	大阪経済法科大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均定員 超過率	開 年 度	設 度	所 在 地	AC対象は、経済学 部経営学科及び国 際学部国際学科
《AC対象学部等》	年	人	年次 人	人		倍				
経済学部						1.16			大阪府八尾市楽音寺 6丁目10番地	
経済学科	4	160	-	640	学士 （経済 学）	1.13	昭和46年度		大阪府八尾市北本町 2丁目10番45号	
経営学科	4	160	-	640	学士 （経営 学）	1.20	平成26年度		同上	
法学部						1.10				
法律学科	4	260	-	1,040	学士 （法学）	1.10	昭和46年度		同上	
国際学部 国際学科	4	140	-	280	学士 （国際 学）	1.09 1.09	平成28年度		同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況
 <国際学部国際学科>
 (1) 教員担当表

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	華立(65)	平成28年4月	世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 比較文化論※ アジア史 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB						
専	教授	宋南先(63)	平成28年4月	Intensive English W/RⅠ Intensive English W/RⅡ コミュニケーション論 Advanced English W/RⅠ Advanced English W/RⅡ ことばと文化 海外語学研修						
専	教授	田畑理一(67)	平成28年4月	国際経済学概論 比較経済論 ロシア経済論						
専	教授	伍躍(57)	平成28年4月	比較税制論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB フィールド・プロジェクトⅠ フィールド・プロジェクトⅡ						
専	教授	中井英雄(65)	平成28年4月	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済政策概論 ヨーロッパ経済論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB						
専	教授	呉志賢(41)	平成28年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ データマイニング 経営情報概論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	岩見(長坂)真希(38)	平成28年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ 情報セキュリティ論 ビジネスアプリケーション クラウド活用実践						
				ネットワーク論	兼任	准教授	鈴木 聡(39)	平成29年4月	ネットワーク論	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を 変更(29)
				表計算実践 表計算応用 プログラミング実践						
専	教授	ルベ エマニュエル(58)	平成28年4月	異文化理解※ Webデザイン実践 ソーシャルメディア論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB						
専	准教授	高砂 謙二(45)	平成28年4月	国際ビジネス概論 国際金融概論 国際経営論 外国為替論 貿易金融論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB		教授				平成29年1月 教員審査済 (29)
専	准教授	ウェサ*ビ マーティン(53)	平成28年4月	Intensive English L/SⅠ Intensive English L/SⅡ Exam Prep.Ⅰ Exam Prep.Ⅱ Advanced English L/SⅠ Advanced English L/SⅡ 基礎演習A 基礎演習B						
				専門演習ⅠA					専門演習ⅠA	平成29年1月 教員審査済 (29)
				専門演習ⅠB	専任	准教授	本多 善(32)	平成29年4月	専門演習ⅠB	平成29年4月 専任教員の 新規採用により、 科目担当者を 変更(29)
				海外語学研修						
専	准教授	グリーン スティーブン ブラッドリー(52)	平成28年4月	Japanese Law and Society Comparative Legal System Comprehensive EnglishⅠ Comprehensive EnglishⅡ Current Affairs						平成28年1月 教員審査済 (28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	准教授	菅原 絵美 (35)	平成28年4月	国際社会と法 国際協力法 国際人権法 国際機構論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB フィールド・プロジェクトⅠ フィールド・プロジェクトⅡ						
専	准教授	赤城 永里子 (35)	平成28年4月	日本語文章表現Ⅰ 日本語文章表現Ⅱ 日本語コミュニケーション技法Ⅰ 日本語コミュニケーション技法Ⅱ アカデミックライティング テクニカルライティング 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB フィールド・プロジェクトⅠ フィールド・プロジェクトⅡ 日本語総合演習A 日本語総合演習B 日本語会話				平成29年4月	日本語会話	平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を変更(29)
専	准教授	三井 愛子 (44)	平成28年4月	メディアリテラシー メディア論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB	兼任	講師	吉村 誠 (66)	平成29年4月	メディアリテラシー メディア論	平成29年4月専任教員の一人上の都合により、科目担当者を変更(29)
					専任	助教	葉袋 佳祐 (31)	平成29年4月	基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB	平成29年1月教員審査済。 平成29年4月専任教員の一人上の都合により、科目担当者を変更(29)
専	助教	ミルス' ジョナサン チャールズ' (43)	平成28年4月	異文化理解※ Intensive English L/SⅠ Intensive English L/SⅡ 比較文化論※ Japanese Culture Advanced English L/SⅠ Advanced English L/SⅡ Academic WritingⅠ Academic WritingⅡ Exam Prep.Ⅳ 海外語学研修						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	助教	梶村 美紀(51)	平成28年4月	多文化共生社会論※ 現代東南アジア事情 国際社会と人の移動 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB フィールド・プロジェクトⅠ フィールド・プロジェクトⅡ		准教授				平成28年1月 教員審査済 (28)
兼任	教授	長沼 進一(70)	平成30年4月	航空経済論						
兼任	教授	グスタボ バルダ ス(56)	平成30年4月	Japanese Economy Contemporary Economic Issues						
兼任	教授	深瀬 澄(56)	平成28年4月	ビジネス統計 インターンシップ						
兼任	教授	澤野 義一(64)	平成28年4月	平和学※						
兼任	教授	金 泰明(64)	平成28年4月	哲学 現代社会と人権 人権の諸問題【隔年】	兼任	准教授	渡邊 浩一 (35)(36)	平成28年4月	哲学	平成28年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を 変更(28)
				異文化理解※						平成29年1月 教員審査済 (29)
					専任	准教授	本多 善(32)	平成29年4月	異文化理解※	平成29年4月 専任教員の 新規採用により、 科目担当者を 変更(29)
兼任	教授	田中 嗣久(62)	平成28年4月	法学 市民社会と法	兼任	教授	櫻井 利江(65)	平成29年4月	法学	平成29年4月 兼任教員の 新規採用により、 科目担当者を 変更(29)
兼任	教授	多胡 圭一(74)	平成28年4月	政治学	兼任	准教授	森口 舞(37)	平成29年4月	政治学	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を 変更(29)
兼任	教授	矢野 哲也(56)	平成28年4月	平和学※						
兼任	教授	西脇 邦雄(61)	平成28年4月	地方自治と国際協力 現代社会とビジネス※						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	教授	浅見 緑(56)	平成28年4月	文章表現入門 文学 河内学※ 現代社会と日本語						
兼任	教授	森榮 徹(64)	平成28年4月	現代社会と観光※ 現代社会とメディア 日本語文章表現Ⅰ 日本語文章表現Ⅱ ジャーナリズム論 観光概論 観光資源論 文章表現入門						
兼任	教授	吉田 廣(61)	平成28年4月	文章表現入門	兼任 兼任					平成28年4月 教養部専任教員退職。兼任 委嘱(28)
兼任	教授	加納(松浦)義彦(63)	平成28年4月	環境論※ 環境フィールドスタディⅠ 環境フィールドスタディⅡ 河内学※ 環境と社会 環境と生態 環境保全論※ 環境演習A 環境演習B						
兼任	教授	金 成秀(62)	平成28年4月	平和学※ 現代社会と観光※ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 韓国語Ⅰ 日本語総合演習A 日本語総合演習B 韓国語コミュニケーション演習						平成28年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を変更(28)
					兼任	講師	仲本 早紀 (26)(27)	平成28年4月	日本語総合演習A 日本語総合演習B	
兼任	教授	鈴木 清稔(59)	平成28年4月	教育学						
兼任	教授	文本 陽雲(64)	平成28年4月	化学と生活						平成28年4月 兼任教員採用により、科目 担当者を変更(28)
				情報システム論	兼任	准教授	崔 舜星 (39)(40)	平成28年4月	情報システム論	
				ワープロ実践 データベース実践 デジタルプレゼンテーション						
兼任	教授	山木 和(64)	平成29年4月	情報科学演習						

設置時の計画					変更状況					
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名	就任予 定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名	就任予 定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	松下 幸史朗 (36)	平成29 年4月	経営戦略論	兼任	講師	後任未定 河野 公洋(52)	平成29 年9月	経営戦略論	平成28年4月 科目担当教員 が退職。後任 は科目開設年 度である平成 29年度開始ま でに決定する (28) 平成29年4月 兼任教員の委 嘱辞退に伴 い、担当者を 変更(29)
兼任	准教授	高橋 慎二(42)	平成28 年4月	現代社会とビジネス※		教授				平成29年4月 教授昇格(29)
兼任	准教授	中嶋美樹子(43)	平成30 年4月	税法			後任未定			平成28年4月 科目担当教員 が退職。後任 は科目開設年 度である平成 30年度開始ま でに決定する (28)
兼任	准教授	引地夏奈子(39)	平成30 年4月	国際会計論						
兼任	准教授	杉山 裕(42)	平成28 年4月	経済学	兼任	教授	井上 勝雄 (72)(73)	平成28 年4月	経済学	平成28年4月 時間割編成上 の理由により、 科目担当者を 変更(28)
兼任	准教授	山根 陽一(37)	平成29 年4月	会計学概論						
兼任	准教授	吉川 真理子 (55)	平成30 年4月	現代オセアニア事情 観光英語 Tourism and World Heritages						
兼任	准教授	宮崎 裕(46)	平成28 年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ ソフトウェア論		教授				平成29年4月 教授昇格(29)
兼任	准教授	呉 紅敏(43)	平成28 年4月	社会保障の国際比較 日本事情入門 現代日本事情		准教 授 教授				平成28年4月 教授昇格(28)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	准教授	中川 康弘(43)	平成28年4月	多文化共生社会論※	専任	准教授	本多 善(32)	平成29年4月	多文化共生社会論※	平成29年1月教員審査済(29) 平成29年4月専任教員の新規採用により、科目担当者を変更(29)
				文章表現入門	兼任	准教授	樋口くみ子(37)	平成29年4月	文章表現入門	平成29年4月兼任教員の退職により、科目担当者を変更(29)
				日本語Ⅰ	兼任	教授	養川 恵理子(59)	平成29年4月	日本語Ⅰ	
				日本語Ⅱ					日本語Ⅱ	
				日本語総合演習B	兼任	准教授	姜 若冰(46)	平成29年4月	日本語総合演習B	
				日本語会話				平成29年4月	日本語会話	
				日本語表現					日本語表現	
兼任	准教授	笹井 恵子(44)	平成28年4月	心理学 総合演習a 総合演習b						
兼任	准教授	高垣 英夫(64)	平成28年4月	基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論	兼任	教授	朴 永貞(51)	平成29年4月	基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論	平成29年4月兼任教員の定年退職により、科目担当者を変更(29)
兼任	准教授	中澄 孝司(64)	平成28年4月	基礎体育A 基礎体育B 身体運動科学 生涯スポーツA 生涯スポーツB フィットネス実習A フィットネス実習B スポーツ指導論	兼任	助教	勝 健真(35)	平成29年4月	基礎体育A 基礎体育B 身体運動科学 生涯スポーツA 生涯スポーツB フィットネス実習A フィットネス実習B スポーツ指導論	平成29年4月兼任教員の定年退職により、科目担当者を変更(29)
兼任	准教授	姜 若冰(46)	平成28年4月	文学 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
				日本語Ⅰ	兼任	講師	仲島 淳子(46)	平成29年4月	日本語Ⅰ	平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を追加、変更(29)
				日本語Ⅱ	兼任	准教授	丸島 歩(33)	平成29年4月	日本語Ⅱ	
				中国語総合演習A 中国語総合演習B 中国語会話 中国語コミュニケーション演習						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	准教授	フィリップ・フラヴィン(55)	平成28年4月	Intensive English L/S I	専任	助教	ミルズ ジョナサン チャールズ(44)	平成29年4月	Intensive English L/S I	平成29年4月 兼任教員の退職により、科目担当者を変更(29)
				Intensive English L/S II					Intensive English L/S II	
				日本文化論	兼任	講師	シナキン ミハエラ ラクラ ミオラ(32)	平成29年4月	日本文化論	
				多文化共生社会論※ Comparative Culture						
				Advanced English L/S I	兼任	講師	オーリック・オコン (36)	平成29年4月	Advanced English L/S I	
				Advanced English L/S II					Advanced English L/S II	
兼担	助教	谷花 佳介(41)	平成30年4月	アメリカ経済論		准教授				平成29年4月 准教授昇格(29)
兼担	助教	藤村 佳子(34)	平成28年4月	経営学概論 経営管理概論						
兼担	助教	林 英一(31)	平成28年4月	文章表現入門	兼任	講師	野口 勝三(52)	平成29年4月	文章表現入門	平成29年4月 時間割編成上の理由により 担当者を変更(29)
				日本近現代史 河内学※ 日本史概論 I 日本史概論 II						
兼担	助教	乾 順子(43)	平成28年4月	社会学	兼担	准教授	樋口くみ子(37)	平成29年4月	社会学	平成29年4月 兼任教員の新規採用により、 科目担当者を 変更(29)
				統計学 I 統計学 II 現代社会学 ジェンダー論		准教授		平成29年4月		
兼担	助教	勝 健真(34)	平成28年4月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ論 生涯スポーツA 生涯スポーツB						
兼任	講師	梶川 伸(68)	平成28年4月	文章表現入門 マスコミ論						
兼任	講師	勝 英雄(67)	平成28年4月	生涯スポーツA 生涯スポーツB フィットネス実習A フィットネス実習B						
兼任	講師	前田 晴人(66)	平成28年4月	日本史 河内学※						
兼任	講師	堀内泰紀(67)	平成28年4月	文章表現入門	兼任	講師	吉田 廣(62)	平成29年4月	文章表現入門	平成29年4月 兼任教員の委嘱辞退により、 科目担当者を 変更(29)
				芸術学	兼担	助教	石田 友梨(36)	平成29年4月	芸術学	

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	池田良穂(66)	平成28年4月	現代社会と観光※ 海運と港湾 日本の水産業と世界の水産業 資源・エネルギー論 クルーズ・ビジネス論						
兼任	講師	姜信和(49)	平成28年4月	地域文化論 総合演習a 総合演習b 比較文化論※						
兼任	講師	田原 護立(68)	平成29年4月	総合演習a 総合演習b グローバル化とメディア						
兼任	講師	上野 裕(63)	平成28年4月	現代社会と観光※					現代社会と観光※	平成28年4月 兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更。後任は科目開設年度である平成29年度開始までに決定する(28)
				地理学	兼任	講師	堀内 千加(38)・(39)	平成28年4月	地理学	
				都市計画の国際比較			後任未定			
兼任	講師	西口 善規(63)	平成28年4月	トレーニング演習A					トレーニング演習A	平成28年4月 法学部専任採用(国際学部兼任)(28)
				トレーニング演習B	兼任 兼任	講師 准教授	西口 善規(64)	平成29年4月	トレーニング演習B	平成29年4月 時間割編成上の理由により、科目担当者を変更(29)
兼任	講師	石川 靖之(53)	平成30年4月	メディアと広告 プレゼンテーション実践						
兼任	講師	杉林 弘仁(55)	平成29年4月	流通システム論						
兼任	講師	矢島 正枝(67)	平成30年4月	航空実務 ホスピタリティ論						
兼任	講師	河野 公洋(52)	平成29年4月	マーケティング論 貿易商務論 国際取引と法(契約と決済) 国際取引と法(紛争処理)						
兼任	講師	崎山 博教(44)	平成30年4月	国際ビジネスと知的財産						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	加藤 靖弘(64)	平成28年4月	Intensive English W/R I	兼任	講師	岡崎 臣博 (60) (61)	平成28年4月	Intensive English W/R I	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加。兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28)
				Intensive English W/R II	兼任	講師	藤木 隆義 (69) (70)	平成28年4月	Intensive English W/R II	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加。兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28)
				翻訳実践 貿易英語						
兼任	講師	東 千代子(33)	平成28年4月	Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II	兼任	教授	藤崎 好子(63)	平成29年4月	Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II	平成29年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(29)
兼任	講師	柳田 亮吾(33)	平成28年4月	言語学 異文化コミュニケーション						
兼任	講師	福田 泰子(36)	平成28年4月	Intensive English W/R I	兼任	講師	デイヴィス 恵美 (41)	平成28年4月	Intensive English W/R I	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加。兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28)
				Intensive English W/R II				平成29年4月	Intensive English W/R II	平成29年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(29)
				Advanced English W/R I Advanced English W/R II	兼任	講師	石田 雅子(49)	平成29年4月	Advanced English W/R I Advanced English W/R II	平成29年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(29)
兼任	講師	グレン・マイケル・ブラウン(52)	平成30年4月	Regional Studies (Oceania) Business Communication I Business Communication II						
兼任	講師	中尾 恭三(37)	平成28年4月	世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 西洋史						
兼任	講師	北西 正人(36)	平成29年4月	社会思想史						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	ヒュラルド コルナトウスキ(36)	平成29年4月	Japanese Society	兼任	講師	綱島 洋之(41)	平成29年4月	Japanese Society	平成29年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(29)
				Japanese Geography	兼任	講師	ヨハネス キーナー(35)	平成29年4月	Japanese Geography	
				政治地理学						
兼任	講師	竹井 夏生(41)	平成28年4月	心理学 社会心理学						
兼任	講師	李 良子(61)	平成28年4月	心とからだの病理学	兼任	講師	大島 由美子(44)	平成29年4月	心と体の病理学	平成29年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(29)
				医療ビジネス論						
兼任	講師	大野 勝好(66)	平成28年4月	国際キャリア開発A 国際キャリア開発B						
兼任	講師	太田 結花(56)	平成29年4月	国際キャリアデザイン演習A 国際キャリアデザイン演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B						
兼任	講師	大島 淑恵(54)	平成29年4月	国際キャリアデザイン演習A 国際キャリアデザイン演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B						
兼任	講師	笠田 真由美(51)	平成29年4月	国際キャリアデザイン演習A 国際キャリアデザイン演習B	兼任	講師	中川 正秋(57)	平成29年4月	国際キャリアデザイン演習A 国際キャリアデザイン演習B	平成29年4月時間割編成上の理由により、科目担当者を変更(29)
				国際キャリア演習A 国際キャリア演習B						
兼任	講師	斐 龍(51)	平成28年4月	海外インターンシップ						
兼任	講師	鳥羽 美鈴(41)	平成29年4月	ヨーロッパ史 現代ヨーロッパ事情 Regional Studies(Europe)						
兼任	講師	エドワード シュルツ(72)	平成29年4月	Japanese History						
兼任	講師	田中 慎吾(37)	平成29年4月	アメリカ史 現代アメリカ事情						
兼任	講師	菅瀬 晶子(45)	平成29年4月	宗教学 現代中東事情						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	鈴木 真弥(41)	平成30年4月	Regional Studies (Asia)						
兼任	講師	明戸 隆浩(41)	平成30年4月	Regional Studies (America)						
兼任	講師	金森 康(43)	平成29年4月	NPO・NGO論						
兼任	講師	鏡 竜太郎(41)	平成30年4月	ディベート実践 ビジネス交渉						
兼任	講師	エセックス マイケル アラン(29)	平成28年4月	Intensive English L/S I Intensive English L/S II Advanced English L/S I Advanced English L/S II						
兼任	講師	ロー デュエーン エドワード(46)	平成28年4月	Intensive English L/S I Intensive English L/S II Advanced English L/S I Advanced English L/S II						
兼任	講師	デイヴィス 恵美(40)	平成28年4月	Advanced English W/R I Advanced English W/R II Exam Prep. III Business Management	兼任	教授	神田 真喜子(60)	平成29年4月	Advanced English W/R I Advanced English W/R II	平成29年4月委嘱辞退により、科目担当者を変更(29)
					兼任	講師	アスティル・ダグラス・ジェームス(42)	平成29年4月	Exam Prep. III	
兼任	講師	石本 東生(56)	平成30年4月	国際観光論						
兼任	講師	国宗浩三(54)	平成30年4月	東南アジア経済論						
兼任	講師	木下 英雄(53)	平成30年4月	中国経済論						
兼任	講師	朴 永兎(50)	平成28年4月	現代社会と健康	兼任 兼任	講師 教授				平成28年4月教養部専任採用(国際学部兼任)(28)
兼任	講師	山下 丈夫(52)	平成28年4月	ロシア語 I ロシア語 II ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B						
兼任	講師	岸 優子(61)	平成28年4月	現代社会と教育						
兼任	講師	桑原 武志(63)	平成28年4月	考古学 文化人類学 河内学※						

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	森 征樹(45)	平成28年4月	日本国憲法						
兼任	講師	佐々木 雅一(69)	平成28年4月	環境論※	兼任	准教授	川瀬 成吾(30)	平成29年4月	環境論※	平成29年4月 兼任教員の新規採用により、 科目担当者を 変更(29)
				環境と経営	兼任	教授	塩谷 茂明(66)	平成29年4月	環境と経営	
兼任	講師	田嶋 香織(43)	平成28年4月	日本語Ⅰ	兼任	講師	小南 淳子(62)	平成29年4月	日本語Ⅰ	平成28年4月 一部科目の担当の 委嘱を辞退(28) 平成29年4月 兼任教員の委嘱 辞退により、 科目担当者を 変更(29)
				日本語Ⅱ					日本語Ⅱ	
				日本語総合演習A	兼任	講師	高月 喜美(57)	平成29年4月	日本語総合演習A	
				日本語総合演習B					日本語総合演習B	
				日本語会話				平成29年4月	日本語会話	
				日本語表現				平成28年4月	日本語表現	
兼任	講師	安倉 良二(44)	平成28年4月	河内学※						
兼任	講師	養父 志乃夫(59)	平成29年4月	環境保全論※						
兼任	講師	仲島 淳子(45)	平成28年4月	韓国語Ⅰ						平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を 変更(29)
				韓国語Ⅱ						
				韓国語会話	兼任	教授	金 成秀(63)	平成29年4月	韓国語会話	
兼	講師	山田 智貴(51)	平成29年4月	地球と環境	兼任	准教授	川瀬 成吾(30)	平成29年4月	地球と環境	平成29年4月 兼任教員の新規採用により、 科目担当者を 変更(29)
				環境と海洋	兼任	教授	塩谷 茂明(66)	平成29年4月	環境と海洋	
兼任	講師	尹 銀哲(39)	平成28年4月	日本語Ⅱ	兼任	教授	呉一紅敏(44)	平成28年4月	日本語Ⅱ	平成28年4月 兼任教員の委嘱 辞退により、 科目担当者を 変更(28)
								平成29年4月		平成29年4月 教育の充実を図るために、 科目担当者を 追加・変更
兼任	講師	黒田 進(64)	平成28年4月	生涯スポーツA						
				生涯スポーツB						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名	就任予 定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名	就任予 定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	森下 泰行 (67)	平成28 年4月	トレーニング演習A トレーニング演習B 健康科学論						
兼任	講師	廣本 寿夫 (57)	平成29 年4月	ビジネスリテラシー						
兼任	講師	竹内 俊隆 (65)	平成29 年4月	現代中国事情 国際関係論						
					兼任	教授	朴 永昊 (50) (51)	平成28 年4月	基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論	平成28年4月 履修者数に応 じてクラス数 を増加し、科 目担当者を追 加 (28)
					兼任	教授	金 成秀 (62) (63)	平成28 年4月 平成29 年4月	日本語表現	平成28年4月 履修者数に応 じてクラス数 を増加し、科 目担当者を追 加 (28) 平成29年4月 教育の充実を 図るために、 科目担当者を 変更 (29)
					兼任	教授	森 榮 徹 (64) (65)	平成28 年4月	マスコミ論	平成28年4月 履修者数に応 じてクラス数 を増加し、科 目担当者を追 加 (28)
					兼任	教授	吳 紅敏 (43) (44)	平成28 年4月 平成29 年4月	日本語表現	平成28年4月 履修者数に応 じてクラス数 を増加し、科 目担当者を追 加 (28) 平成29年4月 教育の充実を 図るために、 科目担当者を 変更 (29)
					兼任	准教授	姜 若冰 (46) (47)	平成28 年4月 平成29 年4月	日本語表現	平成28年4月 履修者数に応 じてクラス数 を増加し、科 目担当者を追 加 (28) 平成29年4月 教育の充実を 図るために、 科目担当者を 変更 (29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼担	准教授	吉川 真理子 (53) (54)	平成28年4月	Intensive English W/R I	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
					兼担	准教授	本多 善 (31)	平成28年4月 平成29年4月	Intensive English W/R II	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) 平成29年4月時間割編成上の理由により、科目担当者を変更(29)
					兼担	准教授	渡邊 浩一 (34) (35)	平成28年4月	文章表現入門	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
					兼担	助教	勝 健真 (34) (35)	平成28年4月	スポーツ指導論	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
					兼担	助教	林 英一 (31) (32)	平成28年4月	日本史	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
								平成29年4月	総合演習a 総合演習b	平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を追加(29)
					兼担	助教	石田 友梨 (35) (36)	平成28年4月	地域文化論	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
								平成29年4月	総合演習a 総合演習b 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話 日本語表現	平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を変更(29)
								平成29年4月	日本事情入門	平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を追加(29)
								平成29年4月	現代日本事情	平成29年4月教育の充実を図るために科目担当者を変更(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	教授	山根 共行 (67) (68)	平成28年4月	文章表現入門	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28)
					兼任	講師	仲本 早紀 (35) (26)	平成28年4月 平成29年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) 平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設及び科目担当者を変更(29)
					兼任	講師	高月 喜美 (56) (57)	平成28年4月 平成29年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅲ	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) 平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設及び科目担当者を追加・変更(29)
					兼任	講師	榎原 実香 (25)	平成28年4月 平成29年4月	日本語Ⅱ	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) 平成29年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(29)
					兼任	講師	仲島 淳子 (45) (46)	平成28年4月 平成29年4月 平成29年4月	現代日本事情 日本語会話 日本語表現 日本語Ⅲ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	平成29年4月時間割編成上の理由により、科目担当者を変更(29) 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) 平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を変更(29) 平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	松原 万里子 (53) (54)	平成28年4月 平成29年4月	Exam Prep. I Exam Prep. II Exam Prep. III	平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) 平成29年4月教育の充実を図るため、科目担当者を追加(29)
					専任	准教授	本多 善(32)	平成29年4月	International Migration Multiculturalism in Modern Society 異文化適応論 Readings for Global Issues I Readings for Global Issues II 基礎演習A 基礎演習B 海外語学研修 フィールド・プロジェクト I フィールド・プロジェクト II	平成29年1月教員審査済 平成29年4月教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29) 平成29年1月教員審査済。 平成29年4月教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目担当者を追加(29)
					専任	助教	薬袋 佳祐(31)	平成29年4月	日本と国際法 安全保障と国際法 国際紛争の平和的解決と国際法 International Relations and Law (Introduction to International Law) フィールド・プロジェクト I フィールド・プロジェクト II	平成29年1月教員審査済 平成29年4月教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目を新規開設(29) 平成29年1月教員審査済。 平成29年4月教育の充実を図るために、専任教員を新規採用し、科目担当者を追加(29)
					兼任	教授	金 成秀(63)	平成29年4月	韓国語 II	平成29年4月時間割編成上の理由により、科目担当者を変更(29)
					兼任	教授	養川 恵理子(59)	平成29年4月	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼担	准教授	姜 若水(46)	平成29年4月	日本語総合演習A	平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を追加(29)
					兼担	准教授	丸島 歩(33)	平成29年4月	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)
					兼担	准教授	川瀬 成吾(30)	平成29年4月	環境フィールドスタディⅠ 環境フィールドスタディⅡ 環境保全論	平成29年4月兼担教員の新規採用により、科目担当者を追加(29)
					兼任	教授	村田 恵三(67)	平成29年9月	科学技術史 現代社会と科学	平成29年9月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)
					兼任	講師	森下 浩平(38)	平成29年4月	ワープロ実践 データベース実践 ワープロ応用	平成29年4月兼担教員の病気休職(前期)のため、前期分の科目担当者を変更。(29) 平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)
					兼任	講師	光山 寛(65)	平成29年4月	デジタルプレゼンテーション	平成29年4月兼担教員の病気休職(前期)のため、前期分の科目担当者を変更。(29)
					兼任	講師	真下 恭子(54)	平成29年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅲ	平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設及び科目担当者を追加・変更(29)(29)
					兼任	講師	小南 淳子(62)	平成29年4月	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語表現 日本語読解	平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29) 平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を変更(29) 平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	井ノ口 智佳(32)	平成29年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設及び科目担当者を追加・変更(29)
					兼任	講師	藤井 瑠美(37)	平成29年4月	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ 日本語総合演習A	平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設及び科目担当者を追加・変更(29)
					兼任	講師	伊澤 明香(32)	平成29年4月	日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	平成29年4月教育の充実を図るために、科目を新規開設(29)
					兼任	講師	尹 恵彦(34)	平成29年9月	日本語総合演習B	平成29年4月教育の充実を図るために、科目担当者を追加・変更(29)
					兼任	講師	石田 雅子(49)	平成29年4月	Intensive English W/R I Intensive English W/R II	平成29年4月時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29)
					兼任	講師	正田 久美(43)	平成29年4月	Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II	平成29年4月時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29)
					兼任	講師	以倉 理恵(55)	平成29年4月	Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II	平成29年4月時間割編成上の理由により、科目担当者を追加・変更(29)

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	久保 祐美子 (54)	平成29年4月	Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)
					兼任	講師	福田 和義 (58)	平成29年4月	Intensive English W/R I	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)
					兼任	講師	岡崎 臣博 (60)	平成28年4月	Intensive English W/R II	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)
					兼任	講師	藤木 隆義 (70)	平成29年4月	Intensive English W/R I	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)
					兼任	講師	廣瀬 順子 (54)	平成29年4月	Intensive English W/R II Advanced English W/R I	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)
					兼任	講師	オーリック・オコン (36)	平成29年4月	Intensive English L/S I Intensive English L/S II	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)
					兼任	講師	アスティル・ダグラス・ジェームス (42)	平成29年4月	Intensive English L/S I Intensive English L/S II Advanced English W/R I Advanced English W/R II Exam Prep.IV	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29) 平成29年4月 教育の充実を明かすため、 科目担当者を追加 (29)
					兼任	講師	アレクサンダー・スコット (52)	平成29年4月	Advanced English L/S I	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)
					兼任	講師	佐藤 一生 (69)	平成29年4月	トレーニング演習A トレーニング演習B	平成29年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を追加・変更 (29)

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	6	0	2	16	10	5	0	2	17	10	5	0	2	17
(9)	(6)	(0)	(1)	(16)						[2]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授 67 歳 准教授・講師・助教 65 歳	3 名	3 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
-	-	-	-	-	-	-							
			-	-	-								
			-	-	-								
-	-	-	-	-	-	-							
			-	-	-								
			-	-	-								
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	三井 愛子	選択	メディアリテラシー	②	一身上の都合による退職				
			選択	メディア論	②					
			必修	基礎演習 A	①					
			必修	基礎演習 B	①					
			選択	専門演習Ⅰ A	①					
			選択	専門演習Ⅰ B	①					
			選択	専門演習Ⅱ A	①					
			選択	専門演習Ⅱ B	①					
			選択	専門演習Ⅲ A	①					
選択	専門演習Ⅲ B	①								
合 計 (C)				後任補充状況の集計 (D)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	6	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	8	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(A) + (C)				後任補充状況の集計(B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	6 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	8 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の退職は、自己都合によるものであった。退職した教員が担当していた科目については、必修科目を中心に、AC教員審査を受け、新規専任教員が担当することとなった。その他の一部の選択科目(講義科目)については、各科目を担当可能な、十分な教育研究業績を有する兼任教員を充てることにした。以上により、専任教員交代による学生の履修等への特段の影響はなかった。専任教員交代について、学生へは、毎学期初めに行う履修ガイダンスで周知を行っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年8月)	「留学・体験科目」について、本科目を通じて本学部で学生が習得すべき能力として挙げられている「国際協働力」を習得するために、下記のことについて十分に留意し、計画を着実に実施すること。 (1) 「留学・体験科目」を通して異文化理解を深め、コミュニケーション力、国際協働力を育むために、事前に現地語の学修を十分に行わせること。 (2) 海外で学修を行うに当たり学生に不安が生じたり、学修に支障が生じたりすることのないよう、学生の安全面への配慮や現地でのサポート体制を充実させるとともに、内容を学生に広く周知すること。	(1) 「留学・体験科目」の実施にあたっては、渡航前に、派遣国の現地で通用している言葉、社会事情と風習などに関する事前学修を行い、異文化理解を深め、コミュニケーション力、国際協働力を育むための準備を行う。 (2) 海外での学修について学生に不安が生じたり、学修に支障が生じたりすることのないよう、事前学修及びオリエンテーションを実施する。また、海外協定校等の担当者と緊密に連携をとり学生の安全に配慮する。事前学修とオリエンテーションでは、海外でのサポート体制について周知し、安全確保と緊急時対応のための研修を行う。さらに、海外での学修及び生活に必要な注意事項等をまとめたハンドブックを参加者全員に配布し、その内容を広く周知する。	
	キャリア形成科目群の中で科目名称に「国際」を冠する6科目について、教育内容として「異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイル（海外事例）の理解」を掲げるのであれば、現地語についての理解も必要と考えられるので、現地語について触れる内容となっているか検証し、必要に応じて修正すること。また、1年次に「留学・体験科目」を履修し異文化について興味を持った学生が、本科目群により発展的に異文化理解の学修を進められるよう内容を検討すること。	キャリア形成科目群の中で、科目名称に「国際」を冠する6科目については、異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイル（海外事例）を理解するため、グローバルな舞台で活躍する実務家による講演などを行い、各国・地域の文化や慣習、現地語について触れる内容となっている。また、1年次に「留学・体験科目」を履修し、異文化に興味を持った学生が、より発展的に学修を進めることができるよう2年次以降の内容をさらに検討する。	
設置計画履行状況 調査時 (平成29年2月)	該当なし		

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

国際学部国際学科においては、全学的な組織である大学教育開発支援センターのもと、教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケート、FD研修などの活動を実施するとともに、国際学部教授会のもとに国際学部FD・カリキュラム検討委員会を置き、カリキュラムの改善充実、授業改善など教員の資質の維持向上に向けた取組を行っている。

〔設置委員会〕

大学教育開発支援センター運営会議、大学教育開発支援センター会議
国際学部FD・カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔大学教育開発支援センター〕

大学教育開発支援センターは、平成28年度、センター運営会議を1回、センター会議を5回開催した。平成29年度は、4月26日に第1回センター運営会議を実施し、以後、平成28年度と同程度の開催を予定している。

○大学教育開発支援センター運営会議構成員（平成29年度）

大学教育開発支援センター所長兼教務部副部長、教務部長、学長補佐兼国際学部長、
経済学部長、法学部長、教養部長、大学院経済学研究科長、
教務部副部長兼法学部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
エクステンションセンター長兼経済学部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
情報科学センター長代理兼教養部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
教務部長補佐兼国際学部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
大学教育開発支援センター所長補佐（以上教員）
大学教育開発支援センター事務長兼教務課長、大学教育開発支援センター所員（以上職員）

○大学教育開発支援センター会議構成員（平成29年度）

大学教育開発支援センター所長兼教務部副部長、教務部長、
教務部副部長兼法学部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
エクステンションセンター長兼経済学部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
情報科学センター長代理兼教養部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
教務部長補佐兼国際学部FD・カリキュラム検討委員会委員長、
大学教育開発支援センター所長補佐（以上教員）
大学教育開発支援センター事務長兼教務課長、大学教育開発支援センター所員（以上職員）

〔国際学部FD・カリキュラム検討委員会〕

国際学部FD・カリキュラム検討委員会は、平成28年度、委員会を17回開催した。平成29年度は、4月5日に第1回委員会、4月19日に第2回委員会を開催した。昨年度と同様に、年間10数回程度の開催を予定している。

○国際学部FD・カリキュラム検討委員会

国際学部長、国際学部長補佐、国際学部FD・カリキュラム検討委員会委員長ほか、専任教員13人で構成。

c 委員会の審議事項等

〔大学教育開発支援センター〕

- 1) IRによるFD課題の抽出と検討
- 2) 教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケートの実施、授業改善報告書の作成等
- 3) 教育活動支援（教員研修、FD研修等）
- 4) 授業方法についての検討会の実施
- 5) シラバス作成の改善・検証
- 6) 学部生の修学・成績状況等の把握と指導方法の検討

〔国際学部FD・カリキュラム検討委員会〕

- 1) 教育活動の企画・開発に関すること
- 2) 教育内容及び教育方法の検証・改善に関すること
- 3) 学科目担当者に関すること
- 4) キャリア教育、就職支援に関すること

② 実施状況

a 実施内容

〔大学教育開発支援センター〕

- ・平成28年4月20日 第1回大学教育開発支援センター運営会議
 - 1) 平成27年度秋学期FDの取組について
 - 2) 平成28年度FDの取組について
- ・平成29年4月26日第1回大学教育開発支援センター運営会議
 - 1) 平成28年度秋学期FDの取組について
 - 2) 平成29年度FDの取組について
- ・平成28年5月9日 第1回大学教育開発支援センター会議
 - 1) 平成28年度春学期のFD取組について
- ・平成28年6月29日 第2回大学教育開発支援センター会議
 - 1) 平成29年度シラバスガイドラインについて
 - 2) 平成28年度「学生による授業評価アンケート」について
 - 3) センターニュース第11号について
 - 4) FD研修について
 - 5) 平成28年度私立大学等改革総合支援事業について
 - 6) IRIについて
 - 7) 大学ポートレートについて
- ・平成28年8月2日 第3回大学教育開発支援センター会議
 - 1) FDの取組について
 - 2) センターニュースについて
 - 3) 平成29年度シラバスガイドラインについて
 - 4) IRIについて
 - 5) 大学ポートレートの検討・見直しについて

- ・平成28年9月28日 第4回大学教育開発支援センター会議
 - 1) 平成28年度秋学期のFD取組について
 - 2) センターニュース第12号について
 - 3) 平成29年度シラバスガイドラインについて
- ・平成29年2月22日 第5回大学教育開発支援センター会議
 - 1) 平成29年度計画について
 - 2) 平成28年度秋学期のFD取組について
 - 3) 平成28年度FD研修会について
 - 4) センターニュース第12号について
 - 5) 大学ポートレートの検討・見直しについて
- [国際学部FD・カリキュラム検討委員会]
- ・平成28年4月20日 第1回委員会
 - 1) 基礎演習の現状と課題について
 - 2) AP/DP/CPの策定日程等について
 - 3) 事業計画実施のための検討課題について
 - 4) その他（CAP制、英語・日本語クラス増設、オフィスアワー等）
- ・平成28年4月27日 第2回委員会
 - 1) 情報リテラシー履修指導について
 - 2) 集中授業の単位認定について
 - 3) 英語教育充実のための課外講座、日本語クラス増設について
 - 4) 新入生キャンプ総括
 - 5) 基礎演習の運営について
 - 6) オフィスアワーの開催方法について
 - 7) プレイメントテスト結果について
- ・平成28年5月25日 第3回委員会
 - 1) 国際キャリア開発の運営について
 - 2) DP/CPの進捗状況について
 - 3) 2年次以降の教育目標について
 - 4) TOEIC課外講座について
 - 5) 研究発表大会、外国語スピーチコンテストについて
 - 6) 基礎演習の運営について
 - 7) その他（オンライン教材、留学等科目の履修上限、英語の科目名称）
- ・平成28年6月22日 第4回委員会
 - 1) DP/CP検討の進捗状況について
 - 2) 他大学訪問調査について
 - 3) 2年次以降の教育目標について
 - 4) 推奨資格と公務員志望者の状況について
 - 5) 学生研究発表大会、外国語スピーチコンテストについて
 - 6) その他（特別補習、基礎演習の状況、公務員志望学生調査、英語担当者会議報告等）
- ・平成28年8月4日 第5回委員会
 - 1) 英語教育の現状と今後の課題について
- ・平成28年8月5日 第6回委員会
 - 1) 平成28年度国際学部事業計画の実施状況について
 - 2) 基礎演習の総括と今後の課題について
 - 3) 2年次の学修目標・推奨資格について
 - 4) 海外体験・留学プログラムの受付・指導と今後の対応について
- ・平成28年9月14日 第7回委員会
 - 1) 海外体験プログラム引率報告について
 - 2) 2年次の教育目標について
 - 3) 推奨資格について
 - 4) 大学教育改革支援事業について
 - 5) メールアドレスの学生への公開について
 - 6) その他（春学期成績等報告、FDの取組、留学生への学修支援、秋学期以降の演習運営等）
- ・平成28年9月28日 第8回委員会
 - 1) 2年次の教育目標について
 - 2) 推奨資格について
 - 3) 研究発表大会、外国語スピーチコンテストについて
 - 4) 2年次の学修内容（集中授業の取扱、演習）について
 - 5) 次年度科目担当者等について
 - 6) 特別プログラム担当について
 - 7) 共通教育科目について
 - 8) 教職課程について
 - 9) その他（大学教育改革推進支援事業への応募）

- ・平成28年10月26日 第9回委員会
 - 1) 事業計画の進捗状況について
 - 2) 2年次の教育目標について
 - 3) 次年度科目担当者等について
 - 4) 2年次の演習について
 - 5) 入学前スクーリングについて
 - 6) 学生研究発表大会、外国語スピーチコンテストについて
 - 7) 共通教育科目の新規開設について
 - 8) 海外体験プログラムの引率体制について
 - 9) English Only Campについて
 - 10) その他（グローバル体験 in ベトナム引率）
- ・平成28年11月16日 第10回委員会
 - 1) 2年次の教育目標について
 - 2) 2年次の演習について
 - 3) 入学前スクーリングについて
 - 4) 学生研究発表大会、外国語スピーチコンテストについて
 - 5) その他（English Only Campの実施、国際学部の入試広報）
- ・平成28年11月30日 第11回委員会
 - 1) 2年次の教育目標について
 - 2) 学生研究発表大会、外国語スピーチコンテストについて
 - 3) 大学教育改革推進支援事業の実施計画について
 - 4) キャリア開発A・B担当者とのヒアリング結果について
 - 5) 推奨資格と正課科目との関連について
 - 6) Exam. Prep.、日本語文章表現のクラス数について
 - 7) GAP制について
 - 8) English Only Campの実施について
 - 9) その他（次年度新任、新設科目）
- ・平成28年12月26日 第12回委員会
 - 1) 推奨資格と正課科目との関連について
 - 2) 英語教育運営会議報告について
 - 3) 平成29年度入学予定留学生の日本語運用能力について
 - 4) 次年度科目担当者について
 - 5) シラバス検証について
 - 6) 留学生に関する日本語チューター募集について
 - 7) 学期末に向けた学修指導について
 - 8) その他（図書の設定）
- ・平成29年1月25日 第13回委員会
 - 1) 英語教育運営会議報告について
 - 2) 推奨資格と正課科目との関連について
 - 3) 国際学部特別プログラムについて
 - 4) 演習の運営について
 - 5) 2年次コース選択指針について
 - 6) 春季休暇期間中の英語運用能力向上、日本語運用能力向上について
- ・平成29年2月6日 第14回委員会
 - 1) 次年度開講科目担当者について
 - 2) 2年次の教育課程の円滑な実施について
 - 3) 国際学部履修要項の内容について
 - 4) 国際学部の英語運用能力発展モデル（Keihoモデル）の検討について
 - 5) 2年次海外体験・留学希望状況について
 - 6) シラバスの作成と検証について
 - 7) その他（国際学部時間割）について
- ・平成29年2月28日 第15回委員会
 - 1) 次年度事業計画の実施分担について
 - 2) 第2回経法プレセミナーについて
 - 3) 平成29年度新入生キャンプについて
 - 4) コース選択・演習配属・履修登録の流れについて
 - 5) 次年度アドバイザーについて
 - 6) 次年度入学生について
 - 7) J-CATの結果について
 - 8) 2年次の留学生日本語科目について
 - 9) 就勝実践キャンプ報告と国際学部の今後の課題・取組について
 - 10) 特別プログラムと資格について
 - 11) その他（TOEIC日程・方法、フィールド・プロジェクトの評価方法、情報リテラシー総括など）

- ・平成28年3月14日 第16回委員会
 - 1) 演習の履修指導と今年度の総括について
 - 2) 事業計画の年間予定について
 - 3) 新学期に向けての取組（履修指導方針等含む）について
 - 4) 時間割の確認について
- ・平成29年3月22日 第17回委員会
 - 1) 2年次履修登録全体スケジュールの確認
 - 2) 2年次教育・コースガイダンスについて
 - 3) 2年次キャリア教育について
 - 4) 2年次留学について
 - 5) 2年次の英語教育・日本語教育について
 - 6) その他

〔大学教育開発支援センター〕

(1) 教育の質的向上

- 1) 教員相互の授業参観（専任教員87人対象）
 - 春学期：平成28年5月16日（月）～6月3日（金）、36人参加
 - 秋学期：平成28年10月27日（木）～11月11日（金）、55人参加
- 2) 学生による授業評価アンケート
 - （後掲 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況）
- 3) 授業改善報告書
 - （後掲 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況）
- 4) FD実践状況調査（※春学期のみ）
 - 春学期：平成28年5月16日（水）～6月3日（金）
 - 調査対象授業158科目
- 5) 授業改善中間フィードバック（専任教員対象）
 - 春学期：平成28年5月23日（月）～27日（金）
 - 報告書提出254科目（提出率87.3%）
 - 秋学期：平成28年10月27日（木）～11月2日（水）
 - 報告書提出272科目（提出率89.4%）

(2) 教育活動支援

- 1) FD研修（専任教員対象）
 - 第1回ICT活用セミナー：平成28年7月7日（木）、12日（火）
 - 「Excelで効果的に成績処理を行う方法」
 - ・参加者10人（7月7日）、8人（7月12日）
 - 第2回ICT活用セミナー：平成28年11月15日（火）、22日（火）
 - 「双方向型授業の実践に便利な理解度把握システムとその活用について」
 - ・参加者6人（11月15日）、7人（11月22日）
 - 全体FD研修会：平成29年2月7日（火）
 - 「学修成果の把握のための客観的指標の策定を目的としたルーブリックの導入」
 - ・参加者63人
 - 平成27年度新任教員振り返り検討会：平成29年3月1日（水）
 - ・平成27年度に着任した専任教員の担当科目に関する報告
 - ・参加者11人
 - 外国語の教授法に関するFD検討会：平成29年3月1日（水）
 - ・外国語での専門教育科目担当者を対象に、教授法と授業改善のための検討を実施
 - ・参加者5人
 - 模擬国連に関するFD検討会：平成29年3月13日（月）
 - ・法学部大学演習での模擬国連の実施報告、関係者による研修
 - ・参加者6人
 - 英語教育FD検討会：平成29年3月14日（火）
 - ・外部講師による国際学部専門科目「Exam Prep. I・II」実施報告、英語教授法検討
 - ・参加者11人

b 実施方法

〔大学教育開発支援センター〕

- 1) IRIによるFD課題の抽出と検討
 - ・IRIによる分析結果を共有し、FD課題について検討
- 2) 教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケートの実施、授業改善報告書の作成等
 - ・教員相互による授業参観を春学期、秋学期に実施し、報告書を提出
 - ・学生による授業評価アンケートをすべての講義科目を対象に実施
 - ・教員の学生による授業評価アンケートの結果を踏まえた授業改善報告書の作成と提出
- 3) 教育活動支援（教員研修、FD研修等）
 - ・大学教育開発支援センター主催によるFD研修会等を実施

- 4) 授業方法についての検討会の実施
 - ・FD検討会の実施
- 5) シラバス作成の改善・検証
 - ・シラバス作成の改善に取り組むとともに作成結果を検証
- 6) 学部生の修学・成績状況等の把握と指導方法の検討
 - ・学期ごとに学生の修学・成績状況について調査・情報共有し、修学指導に活用

〔国際学部FD・カリキュラム検討委員会〕

- 1) 教育活動の企画・開発に関すること
 - ・4年間の教育課程に関する検討
 - ・国際学部学生研究発表大会の企画と実践、総括の実施
 - ・多文化に配慮した教育の実施についての検討
- 2) 教育内容及び教育方法の検証・改善に関すること
 - ・「演習報告書」の作成・共有の実施
 - ・定期的な学生別状況の共有と指導
 - ・英語運用能力向上のための教育方法に関する検討
- 3) 学科目担当者に関すること
 - ・演習募集方法等についての調整
 - ・授業科目担当者等についての調整
 - ・コース制・履修ガイダンスの計画・実施
- 4) キャリア教育、就職支援に関すること
 - ・国際学部のキャリア支援のあり方について検討
 - ・国際学部特別プログラムについての検討
 - ・学部推奨資格の検討

c 開催状況（教員の参加状況含む）
（前掲）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学教育開発支援センターが、国際学部FD・カリキュラム検討委員会等と連携をとりつつ、教育の質的向上や教育活動支援のための取組を年間計画のもと実施している。授業評価アンケート結果から学生の授業満足度は年々向上する傾向にあり、シラバスの内容についても改善・充実されるなどの成果が見られた。

今後も、教育の質的向上のための授業改善等についての組織的取組を継続して実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・講義、外国語等を対象に実施。
 - 春学期：平成28年7月11日（月）～15日（金）
実施科目407科目（アンケート実施率100%）
 - 秋学期：平成28年12月19日（月）～23日（金）
実施科目418科目（アンケート実施率100%）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員は授業評価アンケート結果を踏まえて、授業改善報告書を作成し提出
- ・授業評価アンケート結果と授業改善報告書を学内ポータルサイトに掲載
- ・授業改善報告書の提出状況
 - 春学期：平成28年9月15日（木）～30日（金）
提出率100%（407科目）
 - 秋学期：平成29年2月15日（水）～3月3日（金）
提出率83.5%（349科目）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学国際学部国際学科は、異文化理解と多文化共生を育み、豊かな国際感覚と優れたコミュニケーション能力を身につけるとともに、幅広い教養と専門性を備え、チームワークとリーダーシップをもって、国際的なビジネス・市民社会で活躍できる人材の養成を目指し、当初の設置計画どおり、1年次に履修する設置科目を開講し教育研究活動を実施している。

平成28年度入学生については、授業開始に先立ち、全新生を対象に、新入生キャンプを4月6日～7日の日程で開催した。その場を活用して、1年次演習（「基礎演習」）担当教員（アドバイザー）、クラス担当職員（キャンパスアドバイザー）、クラス担当上級生（チューデントアシスタント、平成28年度については留学経験のある他学部生）とともに、クラスミーティングを行い、春学期の学修計画を立てるため、履修指導を行った。この履修指導を踏まえて、① 1年次必修科目である「基礎演習A」、「基礎演習B」及び「留学・体験科目」、② 1年次必修の英語運用能力を向上させる科目である「Intensive English W/R I」、「Intensive English W/R II」、「Intensive English L/S I」、「Intensive English L/S II」、③ ICT活用能力を身につけるための「情報リテラシー I」、「情報リテラシー II」、④ 学生の生涯を通じた持続的な就業力の育成を目指した「国際キャリア開発A」、「国際キャリア開発B」等を中心に、全員が履修登録を完了させ学修を開始した。

そして、1年次の選択必修である「フィールド・プロジェクト I」または「海外語学研修」については、前者が96人65.8%、後者が44人30.1%、合計で1年生全体で140人95.9%の参加状況となった。引率体制も十全を期し、全員が事故なくプログラムを終えることができた。

国際学部設置にあたり計画した図書の購入・配架、専用教室及び演習室を計画どおり整備した。加えて、国際学部教員が選書した英語の専門書を購入・配架した。関連する図書資料は、引き続きさらに充実を図っている。

開設2年次となる平成29年度は、2年次のコース選択、演習選択を予定どおり実施しつつ、専門教育の一層の充実のため一部科目の新規開設を行った。専任教員1人が一身上の都合により、退職することになったが速やかに後任を補充し、ま

人の専任教員の増員を行い、現在17人の体制となっている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成28年度版自己点検評価書を平成28年6月に公表した。

b 公表方法

- ・自己点検評価書を刊行し、大学ホームページ上に公開する。

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に、財団法人日本高等教育評価機構において受審し、平成23年3月25日付けで、「財団法人日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。続いて、財団法人日本高等教育評価機構による平成28年度大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月7日付けで、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 6月頃予定)